

仮想見本市へようこそ

小学生から大学生までが運営する仮想企業が集まる「バーチャル・カンパニートレードフェア」が24日、京都大百年時計台記念館(京都市左京区)で開かれる。京都や群

24日に京大で

馬、広島など各地からの参加者が、独自の商品などを販売する。

起業家育成につなげようと、NPO法人アントレプレ



フェアで販売する和菓子を手にする養正小の児童
(京都市左京区・養正小)

小学生～大学生が30店

ナーシップ開発センター(京区)などが毎年開いている。今回は30社が出店し、ブルーベリーを使った菓子、シルク抽出液入りの洗顔料、電子版フリーペーパーなどの商品やサービスをPRする。

参加企業のうち、養正小(京区)5年生が運営する「煌翔」は、サンマを表現した和菓子販売する。「京菓子司葵餅(北区)の協力を受け、白あんなどで仕上げた。「社長」の川島魁君(11)は「背ひれをつまみ出すところこだわった。いい所を伝えて売れるように頑張りたい」と意気込む。

京都府内からは、同志社女子大や京都外国語大の学生、桂高の生徒も出店する。一般参加者が買い物を楽しめるのは午前10時15分～午後2時。催しの最後に当日の販売の様子などを総合評価し、入賞企業を表彰する。

催しの問い合わせは同法人
☎075(468)8907。

(笹井勇佑)